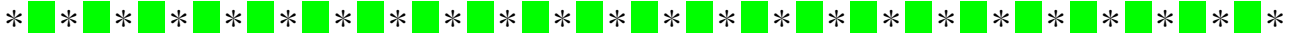




平成 27 年度

私立学校初任者研修関東地区神奈川県研修会 実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所
 後援 日本私立中学高等学校連合会
 実施 一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会



研修のねらい

新規採用教員に対して私立学校教員としての心構えを体得させるとともに
 実践的指導力の育成を図る。

会 期 平成 27 年 8 月 20 日 (木) ~ 8 月 21 日 (金) の 2 日間

会 場 神奈川県私学会館 〒221-0833 横浜市神奈川区高島台7番地5 TEL 045-321-1901

参加対象者・定員 神奈川県内の私立中学校・高等学校・中等教育学校に新たに採用された教員
 (経験者でも可) 及びそれに準ずる教員 110名

基本日程

	8:30	8:50	9:30	10:30	10:40	11:40	12:40	15:00	15:10	16:40
第 1 日目 8月20日 (木)	受付	開 会 式	研修 1 講話 私学教育の 現状と私学 人の使命	研修 2 講話 国における 最新の教育 政策の動向	昼 食	研修 3 シンポジウム 新任教員が今一番 聞きたいこと~4ヶ 月を経験して~	研修 4 講話 自分の声を知る (仮題)			解散
第 2 日目 8月21日 (金)	受付	研修 5 生徒指導について (グループ別討議)	研修 6 グループ 別討議 の報告	昼 食	研修 7 教科別分科会	研修の まとめ	移動 等	修了証 授与式	交 流 会	解 散

- ※ 1 修了証授与式にて修了証をお渡しいたします。
 2 運営上の都合で一部日程が変更になる場合もありますので、あらかじめご承知おきください。
 3 本研修会は、日帰り研修です。
 4 「修了書授与式」と「交流会」は、17:20より「崎陽軒本店」にて行います。

< 3 ページ地図参照 >

研修内容・講師・指導員等

研修 1 - 講話 演 題：私学教育の現状と私学人の使命
 講 師：工 藤 誠 一 (一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会 理事長)
 (聖光学院中学校・高等学校 理事長・校長)

研修 2 - 講話 演 題：国における最新の教育政策の動向
 講 師：山 崎 吉 朗 (一般財団法人日本私学教育研究所 主任研究員)

研修3－シンポジウム

協議題：新任教員が今一番聞きたいこと ～4ヶ月を経験して～
シンポジスト：風 間 啓 一（逗子開成中学校・高等学校 教諭）
 ：加 藤 淳（森村学園中等部・高等部 教諭）
 ：松 浦 恵 理（関東学院中学校・高等学校 高校教頭）
 ：渡 辺 明 子（白鵬女子高等学校 教諭）
司 会 ：村 井 幹 子（前カリタス女子中学高等学校 校長）
 ： （前一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会 理事）

研修4－講話

演 題：自分の声を知る（仮題）
講 師：紺 野 美沙子（女優、エッセイスト、国連開発計画親善大使）
 ：山 口 容 子（フリーアナウンサー）
 ：山 本 郁 子（女優、声優）

研修5－グループ別討議

生徒指導について－参加型グループ討議と情報交換－
全体会概説：畠 英 治（白鵬女子高等学校主幹・生徒指導研究委員会委員長）
指導員：神奈川県私立中学高等学校協会研究部生徒指導研究委員会委員
 ：谷 中 哲 也（横須賀学院中学校・高等学校 教諭）
 ：瀬 下 修（関東学院六浦中学校・高等学校 教諭）
 ：中 園 健 一（日本大学中学校・高等学校 教諭）
 ：吉 澤 晋 一（横浜英和女学院中学校・高等学校 教諭）
 ：三 好 直 幹（横浜清風高等学校 教諭）
 ：島 田 芳 恵（洗足学園中学校・高等学校 教諭）
 ：狩 野 律 子（カリタス女子中学高等学校 教諭）
 ：井 上 香世子（高木学園女子高等学校 教諭）

* 生徒指導上の悩み等（生徒、保護者、教師間の関係、部活等）で、グループ別討議で取り扱って欲しい問題点は、必ず事前に申込用紙に簡条書で二点程度記入してください。

研修6－グループ別討議の報告

研修7－教科別分科会

教科指導について
全体会概説：阿 部 義 広（浅野中学校・高等学校 校長、国語科専門委員会委員長）
指導員：神奈川県私立中学高等学校協会研究部各教科専門委員会専門委員長他

* 教科指導の悩み、知りたいこと、聞きたいこと等で、教科別分科会で取り扱って欲しい問題点は、必ず事前に申込用紙に簡条書で二点程度記入してください。

研修のまとめ

研修のまとめのレポートの作成

参加申込方法

① 参加申込書を、日本私学教育研究所へ郵送またはFAXでお送りください。

【送付先・問い合わせ先】 一般財団法人 日本私学教育研究所 初任者研修係
高山博通 E-mail takayama@shigaku.or.jp
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階
TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683

- ・参加申込書は、1人1枚ご記入ください。複数のご参加の場合はコピーしてください。
- ・参加申込書の記載事項については、本研修以外の目的で利用することはありません。
- ・締切日 平成27年7月10日（金）

② 参加確認証および指定払込票を学校長あてにご送付いたしますので、

参加費を日本私学教育研究所宛てに、送金（振り込み）してください。

- ・参加費 17,000円[参加会費、昼食代、交流会費等を含む]（1人あたり）
- ・指定払込票の「振替払込金受領証」を領収書にかえさせていただきます。
- ・領収証が必要な場合は、別途発行いたしますので、上記「初任者研修係」まで連絡してください。
- ・研修会に不参加の場合、いったん納入された参加費用は、全額返金できないことがあります。また、返金の清算は研修会終了後となりますので、あらかじめご承知おきください。

参加に際しての注意

1. 参加確認証 参加確認証は参加者本人が持参して、研修会当日受付に提示してください。お手元に届かない場合は、標記「初任者研修係」に電話で連絡のうえ、当日その旨を受付に申し出てください。
2. 持参品 ノート、筆記用具、健康保険証、個人用医薬品
3. 受講中の服装 指導いただく先生方に失礼のない服装で受講してください。
4. 来場方法 公共交通機関を利用してください。
5. その他 本研修会の研修期間中、参加者等の傷害保険には主催者として加入しておりませんのでご承知おきください。

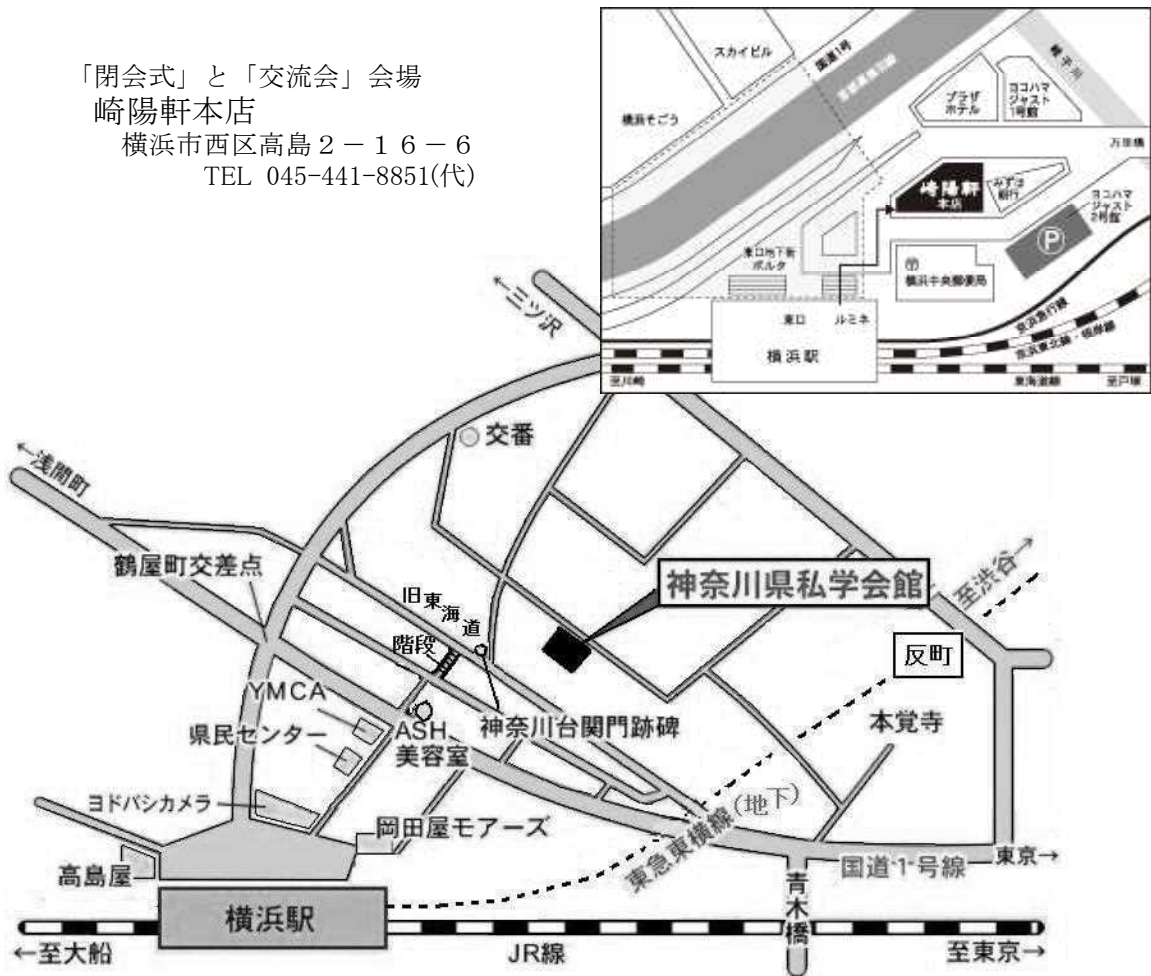
初日の受付について

8月20日（木）、神奈川県私学会館の研修会受付に8時30分～8時50分の間においでください。参加確認証を提示して研修会受付を済ませ、資料等を受領してください。

個人情報の取り扱い

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報は厳重に管理・保護し、その取扱いについては、法令その他の規範を尊重し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合のみに利用いたします。

「閉会式」と「交流会」会場
崎陽軒本店
横浜市西区高島2-16-6
TEL 045-441-8851(代)



神奈川県私学会館

【一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会】

〒221-0833 横浜市神奈川区高島台7番地5 TEL 045-321-1901

JR横浜駅西口下車 徒歩13分
東急東横線反町駅下車 徒歩13分

送付先 日本私学教育研究所 **FAX番号 03-3222-1683** ※送信状は不要です

【申込締切日：7月10日（金）】

平成27年度 私立学校初任者研修 関東地区神奈川県研修会参加申込書 [106-]

- ・太線枠内に必要事項を記入、または該当する事項に○印をしてください。
- ・※の項目は、実施要項の参加者名簿に記載します。他は研究所が統計上の記録・調査に使用します。
- ・申込は一人につき一枚の申込書を使用してください。同一校から複数名でお申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。

都道府県名 神奈川		※学校名	
学校所在地 〒			
TEL		FAX	
ふりがな ※参加者氏名		男・女 年齢()	緊急連絡先(自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)
職名 ○で囲んでください 教諭・職員・講師(常勤・非常勤) その他()	※教科	担当科目	校務分掌(委員会)
教職経験の有無(職名を問わず) 現勤務校に()年・一年未満 それ以前に、(私立学校)年・公立()年		教職以外の就業経験 有()年間・無	
現在のクラス担任 有(中・高)年生・無		現在担当のクラブ活動 有()・無	
メールアドレス:当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)			
一般財団法人 日本私学教育研究所 御中		平成 27 年 月 日	
上記の通り申し込みます。			
		学校長氏名 ⑧	
【通信欄】			

- 参加費の送金について
 - ・この申込書をお送りいただいた後、「参加確認証」と「指定払込票」を送付いたしますので、期限までに「指定払込票」を使って参加費の送金をお願いいたします。
 - ・「指定払込票」の「払込金受領証」をもって領収書にかえさせていただきます。

● 生徒指導グループ別討議、教科別分科会で取り扱って欲しい問題点の記入欄

1. 生徒指導グループ別討議で取り扱って欲しい問題点 (二点) (1) _____ (2) _____
2. 教科別分科会で取り扱って欲しい問題点 (二点) (1) _____ (2) _____